



夏のこの時期、まとめてお話し

名入れのおはなし ② シルク印刷編

エコの得意としている別製品

お手軽なものとして【既製品に名入れ】という対応があります。(とても多いです)

多用される名入れの手法として今回は「シルク印刷」をご紹介します。

○ シルク印刷

枠に貼られたメッシュに文字やマークを焼き付け、
謄写版のように刷ります。



← これがシルク印刷の版

周囲はアルミの枠、中央部分の黄色く見える部分が「抜けて」います。
ここからインクが版の下に染み出します。



← クリアホルダー

シルク印刷を利用することが多いです。
写真のものは黒・赤・青の3色印刷。
これ以上のカラーが必要なら
オフセット印刷をおすすめします。



腕章の印刷はほぼシルク印刷
下地の色に合わせて印刷色も自由に。



筆記具の名入れもシルク印刷を利用。
同じような効果で「パッド印刷」という手法も

シルク印刷の特長

色を調合することにより、指定色や中間色の対応が可能です。

A4の表紙全面、など大きい面積が得意。

別の版を重ねて多色表現も可能。

フルカラーはオフセットやインクジェットで…

シルク印刷のここがちょっと…

シルク印刷の「金」「銀」には光沢がありません。 →つや消し金 (ポスターカラーの金色です)

摩擦や「こすれ」に弱いです

曲面や凹凸面が苦手。